



週報

2011～2012年度 国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

No.0923 2012.3.19 第32例会

◆本日のプログラム

3月19日
内部卓話
「近江探訪」
岡本 和夫 会員

◆理事・役員(2011.7～2012.6)

会 長	藤岡 温	会 計	岡本 和夫	理事・親睦活動	小松 忠男
副 会 長	花房 茂	理事・職業奉仕	丹治 康浩	理事・プログラム	相原 利行
幹 事	原 全伸	理事・社会奉仕	大饗 よし江	理事・ロータリー財団	岡村 秀男
副 幹 事	樋口 芳紀	理事・国際奉仕	原田 徹美	直 前 会 長	川西 熊雄
理事・S.A.A.	山田 喜広	理事・新世代奉仕	小松原 隆代	次 期 会 長	西山 隆三郎
副 S.A.A.	河田 肇	理事・会員増強	大賀 章弘		

◆次回のプログラム

3月26日
「PETSの報告」
西山 隆三郎 次期会長



Reach Within to Embrace Humanity

岡山北西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
E-mail:hokusei@6rc.jp
http://www.okayama-hokusei-rc.jp
友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

地区スローガン

「ロータリーは人をつくる」

クラブスローガン

「親睦の絆で高める奉仕の心」

●例会場
岡山市北区駅元町1-5
ホテルグランヴィア岡山

●例会日
毎週月曜日
12:30～13:30

前回3月12日の例会記録

出席の状況

会員数 52名（内出席免除 5名） 出席者数 39名 欠席者数 13名
出席率 79.59% 前々回訂正 87.76%
欠席者 藤原、福元、入江、川本、木本、小橋、大賀、岡村、丹治、氏房
（平野）、（市川）、（中西（広））

ゲ ス ト

赤磐RC
国際ロータリー第2690地区第9グループ
ガバナー補佐
小林真一様



S . A . A .



相原会員

父の通夜、告別式では、皆様にお心遣いをいただきありがとうございました。また、告別式では長時間立ったままでお待たせして申し訳ありませんでした。



平松会員

2011年3月11日、繰り返し大きく揺れる東京の済生会本部ビルの21階で、半ば死を覚悟いたしました。1年が経ち、生かされている我が身の生き方をあらためて自問しています。



西山会員

先日お配りしました、新入会員様の会員手帳シール、入会日が違っていました。再度レターボックスに入れております。入替宜しく願い致します。



末吉会員

誕生祝いの花束を戴き、ありがとうございました。



原会員

福元さん、野球チケットありがとうございました。震災から1年、昨日の楽天VS日ハム戦を観戦。スコアボード上の旗も半旗。震災の起きた14:46、試合を中断してみんなで黙祷を捧げました。



西岡会員

久しぶりに例会に出席しました。仕事も一段落しましたのでスマイルします。

以上、6件 25,000円（累計 755,500円）

会 長 報 告

会 長 藤 岡 温

大槌中学校への教材寄贈の件ですが、先週のクラブフォーラムで寄贈式をすべきとのご意見が出ましたので、理事役員会で検討した結果、地元の大槌RCの道又会長に取り次ぎなどをお願いすることになりました。道又会長も被災者され、ご自身のお話では、2階へ避難したものの天井から10センチのところまで水がきて、顔だけが水面から上に出ている状態になったそうです。知り合いには、亡くなったものと思われていたそうで、身近にこのような話に接すると、あらためて事の甚大さを感じます。日程等はまた報告しますので、よろしくお願いします。

幹 事 報 告

幹 事 原 全 伸

- ・大槌中学校への教材支援の件ですが、大槌町教育委員会より学校側に納品されたとの連絡がございました。また、ご承認いただきました支援金額ですが、実際の納品金額は10万円強安くなるようです。金額が確認できましたら改めてご報告いたします。
- ・ロータリー財団および米山奨学会の個人寄付についてご質問をいただきましたので私なりに要約した資料を配布しておりますのでご一読ください。
- ・本日例会終了後、被選理事役員会を開催しますので関係者の方はお集まりください。

外部卓話

「アジアの中の日本」

特定非営利活動法人トラストネット岡山

理事長 戸田 雅良 氏

○トピックス（その1）

中堅・中小企業におけるBCP（事業継続計画）の必要性

東日本大震災では、サプライチェーンの断絶によって多くの企業が甚大な影響を受けた。企業は今回のような緊急時に備え、自社のサプライチェーンの全容の把握と必要な見直しの検討にあわせて、可能な限り短時間で事業を再開できるようにBCPを策定しておく必要がある。

一般的に、企業規模が小さくなるにつれて、復旧の遅延による倒産リスクは高まるため、本来は中堅・中小企業の方がBCP策定の必要性は高い。しかし、内閣府の調査によると、BCPを「策定済み」および「策定中」の大企業は58.4%と取り組みが進んでいる一方、中堅企業では27.2%にとどまっている。

1. 中小企業を取り巻く環境

Point 従来からの不景気に加えて、震災や円高の影響もあり、中小企業の経営は厳しさを増しています。

企業経営における当面の課題を理解し、対応を考えることが必要です。

2. 一段と厳しさを増す経営環境

震災を経て、日本企業の強みや、世界経済における日本企業の位置づけの大きさは改めて認識されたが、日本国内での企業活動は一層の危機的状況に置かれている。事業環境は長年にわたって劣化を続けており、そこへ追い打ちをかけるように急激な円高が進み、さらにエネルギー制約にも直面している。

○あらゆる面で劣化を続ける国内事業環境

①国内市場の縮小、他国に大きく引き離される立地競争力

日本の総人口は、今後10年で500万人、20年で1,300万人と、加速度的に減少することが見込まれており、日本経済の先行きが懸念される原因となっている。特に、消費が旺盛なライフステージにある若年人口が著しく減少することを考えれば、国内市場の規模が縮小し続けることは避けられない。

②存立基盤が驚かされる中小企業

日本経済の長期低迷のなかで、中小企業は存立基盤さえ脅かされる厳しい状況にある。法人企業統計でみると、「資本金1億円未満」の企業における2010年度の売上高は、2000年度に比べて製造業平均で約21%も減少しており、電気機械（約75%減）、窯業・土石（約44%減）をはじめ、売上が激減している業種も目立つ。アジアなど海外でのビジネスチャンスが拡大しているとはいえ、企業規模や業種によっては海外進出も容易ではない。取引先企業における生産拠点の海外移転や、海外からの調達拡大などが進むなか、中小企業の経営環境は一層厳しさを増している。

○財政リスクの高まりと懸念される影響

今後を見通せば、悪化を続ける国家財政が、日本経済や国内での企業活動に深刻な影響を及ぼす恐れもある。

日本の政府債務残高は、国際的に突出した高水準にある。それでも日本国債が信認されてきた理由の一つとして、「必要に迫られれば、日本は財政再建に踏み切る」という内外の信頼感があったと考えられる。しかし、経済の停滞によって税収が伸び悩む一方で、社会保障などの歳出が一層増加する見通しにもかかわらず、財政再建への取り組みは長年先送りされてきた。こうしたなか、仮に、日本国債に対する不安が高まれば、金利上昇によって企業の資金調達コストが急激に高まるとともに、国債を大量保有する金融機関の信用や、通貨への信認も低下するなど、日本経済全体に極めて深刻な影響が生じかねない。

○日本企業の国際競争力と収益力の低下

アジア諸国をはじめとする新興国では、高成長を続けてきた果実として、国民一人あたりの購買力が飛躍的に高まっており、高付加価値の商品・サービスへのニーズは着実に広がりつつある。日本企業が持続的な発展をめざすためには、急速な成長を遂げている新興国とともに歩み、市場の拡大をビジネスチャンスとして



いくことが一層重要となる。

主要国・地域の輸入総額に占める「日本からの輸入」の割合をみると、東アジア諸国などで日本製品は高いシェアを占めているものの、最近の10年間では、多くの国において日本製品のシェアが低下しており、「アジアの成長を十分に取り込んでいる」とはいいがたい。

「経営労働政策委員会報告2012年版」 より一部抜粋

クラブ情報

ガバナーって？～国際大会って？（ミニminiロータリー情報②）

幹 事 原 全 伸

ガバナーって？

地区の代表者…国際ロータリー(RI)の管理役員です。

ガバナーになるには、まず所管地区のクラブから指名(ノミネート)され、前々年度の国際大会にて選挙(エレクト)されます。よって次年度のガバナーを「ガバナー・エレクト」と呼び、次々年度のガバナーに指名された人を「ガバナー・ノミニー」と呼びます。

そしてガバナーの任期を終えたら「パスト・ガバナー」と呼ばれます。

ガバナー補佐って？

文字通り、ガバナーを補佐する役目で地区内の各グループから1名選出されます。

地区大会って？

毎年10月頃、RI第2690地区のクラブが一堂に会する年に一度の大会。

ガバナーが所属するRCがホストクラブとなって開催されるので県南・県北・山陰と年によって変わります。

I M (アイエム／Intercity Meeting) って？

毎年2月頃、地区内の第8グループと第9グループに所属するクラブが集う、いわば合同例会です。参加すると近隣クラブの活動内容がよくわかります。第8グループは真庭・津山・美作地区ですので毎年県南地区と交替で開催されます。基本的にガバナー補佐を輩出しているクラブが、ホストクラブとしてお世話をします。

国際大会って？

世界中のロータリアンが一堂に会する唯一無二の機会です。国際ロータリー会長や各国のロータリークラブやロータリアンの活動報告を直接聞いたり、『ロータリーの友』を通してしか知ることのできない、多くの人に直接出会うことができるのです。一度参加すると、ロータリーのことがよくわかり、新しい世界が開けることでしょう。……と言われても..日本で開催されたら行ってみますか。

例会情報

本日のメニュー（3月19日(ミリオン和食)）

御蕎麦 滑子蕎麦雲鰯掛け（白髪葱）

天婦羅（海老 鱈あおさ揚げ 南瓜 茄子 獅子唐 丸十）

御飯 かしわ御飯（人参 薄揚げ 木の芽）

赤出汁

香物（三種）

次回のメニュー（3月26日）

お魚のパイ包みスープ アニスと軽いサフランの香り

豚肉のトマトとオリーブのラグー 季節野菜とビーンズ添え

ミックスグリーンサラダ

シェフ特製デザート

コーヒー

ホテル特製パンとバター